

# 平成23年度釧路総合振興局「地域政策推進事業」予定事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算額	備考(連絡先)
エゾシカ捕獲エキスパート活用モデル・資源有効活用事業	<p>(目的) 増加傾向が著しいエゾシカを短期間で効率良く減少を図るため、管内各地でエゾシカ駆除で実績をあげているハンターを集め、湿原などエゾシカが多く越冬している区域で集中的な捕獲をモデル実施すると共に、エゾシカ肉等の新たな有効活用方策として、エゾシカ肉等を活用したペットフードへの取組みを推進する。</p> <p>(課題) 管内熟練狩猟者による国設鳥獣保護区等における集中モデル捕獲の実施、未利用部位等の利用状況調査</p>	951	<p>新規 (H23～25)</p> <p>環境生活課 地域政策課</p>
エゾシカの削減に向けたボランティアハンター活用推進事業	<p>(目的) ハンターの都市部への偏在が顕著であることから、市町村がエゾシカの駆除を無償で行うボランティアハンターを活用した有害駆除を行う場合に、市町村間の調整を積極的に行いボランティアハンターの活用の推進を図る。</p> <p>(課題) 市町村間・ボランティアハンター・関係機関等との総合調整及び公募、事前説明会等の実施</p>	297	<p>新規 (H23～24)</p> <p>環境生活課</p>
Kushiro Walker 拡張現実感ゾーン(仮称)創造検討事業	<p>(目的) 双方向による新たな観光需要創出や移住交流の促進を図るため、スマートフォンの「AR(拡張現実)」技術を活用した情報発信・交流システムを通じ、多様な主体が相互に情報発信し、交流できる体感ゾーンの創造に向け、調査検討を行う。</p> <p>(課題) 「KushiroWalker拡張現実感ゾーン(仮称)」モデル地域検討、先進事例調査</p>	279	<p>新規 (H23)</p> <p>地域政策課</p>
くしろ自然循環型酪農推進事業	<p>(目的) 生産資材の高騰など厳しい経営環境に対応するため、土・草・牛の自然循環機能を基本に、自給飼料に立脚した酪農である「自然循環型酪農」を進め経営体質の強化に努めるとともに、地域住民にその取組への理解を深め、活力あふれる地域づくりに資する。</p> <p>(課題) 飼料流通システムの検証、シンポジウム開催</p>	1,118 (22: 358)	<p>継続 (H21～23)</p> <p>農務課</p>
魅力ある「くしろブランド」創造事業	<p>(目的) 釧路地域の自然環境や農水産物などの豊かな地域資源を魅力ある地域ブランドに育てるため、地域住民や産業界など誰もが共感するブランドコンセプトについて合意形成を図るとともに、ブランドコンセプトに基づく新商品・サービスを開発し、戦略的かつ効果的に道内外に情報発信することにより、釧路管内統一の地域ブランドを創造する。</p> <p>(課題) くしろブランド創造検討委員会の開催、ブランド発信ツール等の検討、戦略的モデル商品・サービス等の開発支援</p>	1,295 (22:1,546)	<p>継続 (H21～23)</p> <p>商工労働観光課</p>
釧路地域エコツーリズム形成事業	<p>(目的) 釧路・根室地域のラムサール登録湿地など優れた自然環境を背景にした「エコツーリズム」を地域の新たな「観光ブランド」として推進し、広域的な「エコツーリズムゾーン」の形成を進めるため、地域での機運醸成や推進体制の構築検討を行う。</p> <p>(課題) 訪日外国人受入コミュニケーション研修、公共交通機関利用2泊3日旅行プランの公募及びモニター報告</p>	678 (22:1,202)	<p>継続 (H21～23)</p> <p>商工労働観光課</p>
自然の番人による環境行動促進事業	<p>(目的) 釧路・根室地域では他地域に先駆け「自然の番人宣言」が行われ、湿原をはじめとする貴重な自然環境を守り、次世代に引き継いでいく取組が地域の住民・企業により自主的に行われていることから、地域住民・企業と連携・協力して地球温暖化防止対策や釧路地域における様々な取組を総合的かつ相互に紹介、発信するシンポジウム等を開催し、地域全体への環境行動の定着や拡大を図る。</p> <p>(課題) 釧路合同検討会の実施、シンポジウム及び自然の番人展の開催、メーリングリスト等による情報提供</p>	715 (22:1,088)	<p>継続 (H22～24)</p> <p>環境生活課</p>
合計	7事業(新規3、継続4)	5,333	H22予算額 5,596